事業報告

令和８年度　やさしい日本語講座

開催日時：　令和８年６月４日（木）　第１部10:00～12:00/ 第２部13:00～16:00
会　　場：　あいち国際プラザ　アイリスルーム
講　　師：　八代明恵（やつしろあきえ）　氏（『入門･やさしい日本語』認定講師）防災士
参 加 者：　外国の方と接する機会のある方(愛知県内自治体、日本語ボランティア入門講座受講者含む)
　　第１部 37 名／申込者 40 名　第２部 26 名／申込者 29 名※第２部受講者は第１部参加必須
主　　催：(公財）愛知県国際交流協会 交流共生課　交流共生担当

「～基礎から実践まで～やさしい日本語講座」を開催しました


講師の八代明恵氏

この講座は、地域の外国人住民が増加・多様化する中、外国人と接する機会のある方々に、情報提供の手段として「やさしい日本語」に取り組む必要性を知っていただき、基礎的な知識と現場で実践できる伝え方を学んでいただくことを目的としています。

今年度は、講師に『入門・やさしい日本語』認定講師の八代明恵氏をお招きし、午前に「やさしい日本語の基礎」を学ぶ第１部、午後に「災害時におけるやさしい日本語の実践」をテーマとした第２部を実施しました。第２部は、災害時ボランティア研修も兼ねて行いました。

【第１部　やさしい日本語の基礎】
第１部では、講師自身の異文化体験を交えながら、「日本の中にも異文化がある」という視点について考え、外国人住民とのコミュニケーションにおいて、やさしい日本語が果たす役割や必要性について学びました。
また、「やさしい日本語」には、相手を思いやる「優しさ」と、分かりやすく伝える「簡単さ」の両方があることを学び、相手に伝わりやすい表現について考えました。

後半では、「町内会」「集金」など、地域社会で何気なく使っている言葉を取り上げ、相手に伝わりやすい表現について考えました。さらに、グループワークでは、テーマについて「やさしい日本語」の３文を作成し、伝えたい情報を整理しながら、相手に分かりやすく伝えるための表現について意見を出し合いました。

【第２部　災害時におけるやさしい日本語の実践】
第２部では、災害時に外国人住民が直面する「言葉の壁」「制度の壁」「心の壁」について学び、災害時だけでなく、平時から地域とのつながりを築くことの大切さについて考えました。
韓国・中国・台湾出身の３名をゲストスピーカーに迎え、それぞれの母国で経験した災害や防災の取組、日本で行っている備えなどについてお話しいただきました。参加者は、外国人住民の視点から防災について考え、グループで感想を共有しました。
その後、防災カルタや「防災チェックガイド」を使ったグループワークを行い、災害時に必要な情報を、外国人住民にも伝わりやすい日本語で説明する練習をしました。参加者同士で実際に考え、話し合いながら、災害時の情報伝達について実践的に学ぶことができました。

(公財)愛知県国際交流協会　交流共生課　交流共生担当
URL:https://www2.aia.@pref.aichi.jp

AIA AICHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

この資料の著作権は(公財)愛知県国際交流協会に帰属します。